

公益社団法人日本天文学会 代議員総会議事録

日 時：2014年6月15日（日） 13:00-15:10

場 所：東京大学理学部1号館中央棟3階336号室

出席代議員：岡村、渡部、海部、半田、市川、馬場、井上、吉川、牧島、杉山、土居、山田、櫻井、寺澤、縣(途中退席、委任状あり)、松下、百瀬、長尾

(以上18名、委任状2名で合計20名)

欠席代議員：柴田、奥村、田村、河合(委任状)、小久保、常田、望月、梅村、吉田(道利)、福井、嶺重、佐藤、林、犬塚、観山、吉田、太田、中川(以上18名)

また、中村・本原庶務理事、熊谷・松尾会計理事、茂山 PASJ 理事、西野事務長、黒岩事務員が出席した。なお、櫻井会長と奥村・山田副会長は代議員を兼任している。

I. 確認事項など

議事に先立ち、出席者が18名、委任状2名分あわせて合計20名で定足数を満たし、本会が成立することが確認された。また定款に基づき、以下のとおり議長と署名人の確認がなされた。

議 長：櫻井隆

署名人：櫻井隆

II. 報告

II-1 理事会（2014年5月24日）報告（本原）

5月24日に開催された理事会での協議事項や決議事項等について報告された。報告内容は以下の通り。

i. 2012年度公益社団法人日本天文学会事業報告および決算報告について
理事会にて承認されたことが報告された。

ii. 年会について

春の年会（国際基督教大）が無事終了した。参加者総数1073名、871講演であった。現在、秋の年会(山形大)の準備を進めている。

その他、月報の特集号の準備状況、地学オリンピックの組織作りを進めていること、事務職員の退職があったことが報告された。

iii. 杉並科学館について（櫻井）

杉並科学館存続の要望書を杉並区に出し、会長が杉並区役所に出向いて区議と面会した。区議によれば、杉並科学館廃止はほぼ既定路線となっており変更は難しいだろうとの話であった。

II-2 学術会議報告（杉山）

現在、中規模計画のまとめの報告書を作成中である（杉山）。

II-3 IAU 報告 (岡村)

2015 年 Honolulu で開かれる IAU General Assembly で現在設置されている Commission をすべて廃止し、新たに Commission が設置される。新たな Commissions の Steering Committee Members 等はメンバーの投票で決まる。投票は電子投票であるので、意識を高く持って、必ず投票するようにしてほしい。新たな Commissions の設置提案の締め切り、この件に関する意見交換のためのフォーラムの設置など、詳細は最近リニューアルされた IAU のホームページに記載されている。IAU に有効なメールアドレスを登録していない日本人会員が何人かいるので、情報をお持ちの方は後で知らせてほしい。

日本はサイエンスでは頑張っているが、運営面でももっと貢献すべきである。(海部)

II-4 2013 年度早川基金報告(中村)

資料の通り、受給者が決定された。

早川基金は今年度途中から滞在費と交通費の両方のサポートを基本にしたせいか応募者が多かった。年間約 430 万円の支出であった。(中村)

6 月 14 日午後、大口寄付を頂いている佐藤明達氏宅に会長と会計理事が訪問し、今後の使途について意見交換を行ったことが報告された。

II-5 「シリーズ現代の天文学」英語版の出版について (茂山・岡村)

シュプリンガー・ジャパン編集部と岡村さんが意見交換をし、創立 100 周年記念出版事業の「シリーズ現代の天文学」全 17 巻を英語版として出版するという計画が検討されている。ワーキンググループを立ち上げて、詳細について議論した。日本語版の第 2 版となることを想定した原稿をまとめたうえで、それを英訳するという流れを考えている。

日本語版の著者の著作権を大切に扱うようにしてほしいという意見があった。

II-6 日本天文学会のキャリア支援 (櫻井)

日本天文学会でもキャリア支援を開始する (そのための委員会を設置する) ことを

理事会で検討している。大学でやっているものとの棲み分けは必要であろう。

年会時に、天文の研究教育職だけでなく、多様な職に就いた OB/OG を招いて話をしてもらうこと、などが手始めにできるかもしれない。

II-7 年会の講演について (櫻井)

最近、年会での非会員の講演が増えている。その多くは、卒業間近の学生であるが、

年会はそもそも会員の発表の場であるべきなので、今後は非会員の講演は、初回だけ認め、2 回目以降 (当面、5 年間) は認めないことにすることを理事会で検討

中である。

また、年会開催の候補地は現在、庶務理事が関係各所と連絡を取り決めているが、もう少しオフィシャルに決める方法を導入したいと考えている。

III. 議題

III-1 2013 年度公益社団法人日本天文学会事業報告書の承認（本原）

2013 年度事業報告書案が説明され、全会一致で承認された。

III-2 2013 年度公益社団法人日本天文学会決算書の承認（熊谷）

2013 年度決算書案が説明された。欧文事業では2014年1月より Oxford University Press への委託が始まり、直接印刷費には 2013 年 12 月までの費用のみが計上され、例年より 1 号分少なくなっている。またバックナンバーの貯蔵品への計上を 2014 年度末で廃止したことによる損失も直接印刷費に計上されている。さらに 2014 年度より出版に対する科研費補助金がなくなることも説明された。月報事業については、決算報告の大部分を web 公開にしたことなどにより、収支は改善されている。年会事業は、会場使用料が春の年会では無料であったこと、および、非会員の講演登録料収入が多かったことにより黒字であった。以上の説明の後、決算書案が全会一致で承認された。

[資料リスト]

資料 1 代議員総会出欠表

資料 2 公益社団法人 2013 年度監査報告書

資料 3 2013 年度早川基金採択者一覧

資料 4 日本天文学会創立 100 周年記念出版「シリーズ現代の天文学」の英語出版について

資料 5 2013 年度公益社団法人日本天文学会事業報告書(案)

資料 6 2013 年度公益社団法人日本天文学会決算書（案）

年 月 日

議長・署名人：櫻井 隆 印